古代文字資料館発行『KOTONOHA』第 285 号（2026 年 8 月）

『清語老乞大（巻之六）』ハングル表記満洲語文語索引*

王　海波
（嶺南師範学院）

キーワード：『清語老乞大』、ハングル表記、満洲語文語

1. はじめに

朝鮮時代の司譯院は、外交通訳を担うと同時に、外国語教育機関としても機能していた。ここには漢学・倭学・蒙学・女真学の四学が置かれ、満洲人の入関後には女真学が清学へと改められた。現存する清学書としては、読本類の『八歳兒』・『小兒論』・『三譯総解』・『清語老乞大』と、辞書類の『同文類解』・『漢清文鑑』が挙げられる（小倉 1914a: 44-45; 1914b: 257-262; Lie 1972: 19-21; 邵磊 2011: 290）。

清学書におけるハングル表記の満洲語文語は、必ずしも満洲文字で書かれた満洲語文語を一対一で転写したものではない。例えば、満洲語文語の CVwV（C＝子音、V＝単母音または二重母音）に相当する語形が、ハングル表記では 1 音節で書かれる場合もあれば、2 音節で書かれる場合もある。また、満洲語文語の e に対応するハングル表記や io に対応するハングル表記などにも、それぞれ複数の対応形式が見られる。ハングル表記の満洲語文語は、満洲文字では表しきれない発音上の細部を、ある程度反映している可能性がある。清学書における満洲語文語の満洲文字表記とハングル表記の対応関係に関する研究としては、池上（1951; 1954; 1963）、今西（1958）、성백인（1984）、岸田（1989）、Ikegami（1990）、崔宰宇（1997）、菅野（2005）、邵磊（2011; 2016）、和田（2013）、王敵非（2013）、邵磊・多麗梅（2022; 2023）、邵磊・金龍軍（2022）、邵磊・林茶英（2022）、邵磊・王敵非（2022）、邵磊・任國俊（2023）などが挙げられる。

満洲文字とハングルの表記対応の問題を検討するには、ハングルで記された満洲語文語の語を、対応するメレンドルフ式転写にもとづいて配列し、整理する作業が有効であると考えられる。そこで本稿では、清学書『清語老乞大』（全八巻）の第六巻にあるハングル表記の満洲語文語の語について、メレンドルフ式転写にもとづき索引を作成する。

최동권 외（2012: 497-612）も『清語老乞大』の索引を提供しているが、本稿の索引はそれと以下の点で異なる。

[1] 索引の性質。최동권 외（2012: 497-612）の索引には、満洲語文語メレンドルフ転写とそれに対応する朝鮮語訳を掲載しているが、索引に満洲語文語のハングル表記を記していない。そのため、満洲語文語のハングル表記を参照するたびに『清語老乞大』の原文を確認する必要がある。一方、本稿の索引は、満洲語文語メレンドルフ転写とそれに対応するハングル表記を対照させたものであり、本稿の索引により、『清語老乞大』におけるハングル表記の満洲語文語の語形を直接参照でき、両者の対応関係が一目瞭然となる。

[2] 索引の対象単位。최동권 외（2012: 497-612）の索引は複合語や、後接する格助詞を含むまとまり（例：ahūn deo i「兄弟の」）を一つの対象単位として扱っている。一方、本稿の索引は、スペースを含まない個々の語を対象単位とする。

* 本稿は、中国国家社会科学基金後期資助項目「満語支語言音系学研究」（課題番号 22FMZB009）の助成を受けた研究成果の一部である。本稿の執筆にあたり、北京工業大学の李嘉豪氏よりご協力を賜った。また、Sulfa より貴重な助言をいただいた。ここに記して深甚なる謝意を表する。

[3] 出現箇所の表示方法。최동권 외（2012: 497-612）の索引では、語彙の出現箇所を「巻:葉」の形式で示している。一方、本稿の索引では、「巻-葉-行-個」の形式を採用しており、これにより該当する葉の何行目の何語目として出現しているかを特定することができる。
[4] 対象範囲。최동권 외（2012: 497-612）は『清語老乞大』全巻を対象とした索引である。本稿はその第六巻に限定した索引である。

2. ハングル表記満洲語文語の索引

次表は、清学書『清語老乞大（巻之六）』におけるハングル表記の満洲語文語の語形を、メレンドルフ式転写のアルファベット順に配列したものである。
[1] 第 1 列には、満洲文字で書かれた語のローマ字転写（メレンドルフ式転写）と、その語の和訳を示している。和訳については、羽田（1937）、田村ほか（1966-1968）、福田（2008）等を参考にした。なお、和訳は原則として『清語老乞大（巻之六）』中の文脈に限定した意味ではなく、一般的な語義に基づくものとする。
[2] 第 1 列の動詞については、原則として未完了形とその和訳を記載している。ただし、『清語老乞大（巻之六）』における記録が未完了形以外の形式である場合には、第 1 列に未完了形と和訳を示すとともに、その下の行には、対応する語形を併記している。
[3] 第 2 列には、『清語老乞大（巻之六）』に見られるハングル表記の満洲語文語の語形を示している。
[4] 第 3 列は、当該語形が『清語老乞大（巻之六）』原書のどこに出現しているかを示したものである。たとえば「(6-1a-2-3)」は「第 6 巻-第 1 葉 a 面-第 2 行-第 3 語」を表す。「第 X 語」とは、ハングル表記の満洲語文語のみを対象に順に計数した場合の X 番目に現れる語を指す（ハングル表記の満洲語文語以外の語は計数から除外する）。

表 1 :『清語老乞大（巻之六）』ハングル表記満洲語文語索引

メレンドルフ式転写と和訳	ハングル表記	出現箇所
acabumbi「会わせる；合わせる；混合する」	---	---
acabume	아챠부머	(6-21a-5-4)
acanambi「会いに行く；合っている」	아챠남비	(6-15a-5-6)
adarame「如何に」	아다라머	(6-4b-3-2)
afabumbi「交付する；指示する；担当する」	---	---
afabume	아파부머	(6-2a-3-4)
age「兄」	아거	(6-7b-5-4) (6-11a-1-3) (6-11b-1-2) (6-18b-1-5) (6-19a-2-2)
aha「下僕」	아하	(6-22b-1-4)
ahūn「兄」	아훈	(6-21b-5-1) (6-22a-1-1) (6-22a-5-2) (6-22a-5-5) (6-22a-6-5)
ai「何；何の」	애	(6-6b-1-5) (6-8b-6-5) (6-12a-1-6) (6-13a-2-3) (6-13b-2-4) (6-19b-2-3) (6-23b-4-1)

aibaningge「どこのもの」[1]	애바닝거	(6-17a-5-5)
aibe「何を」	애버	(6-18b-4-3)
aibi[2]	애비	(6-17a-2-1)
aika「もし；もしかしたら；何か」	애카	(6-5a-4-3) (6-7a-2-2)
aikabade「もし」	애카바더	(6-2b-1-1)
ainambi「何をする、どうする」	애남비	(6-4b-5-3) (6-10b-5-3)
ainaha	애나하	(6-9b-2-5) (6-16a-6-3)
ainara	애나라	(6-10a-1-3)
ainu「なぜ」	애누	(6-16a-1-3) (6-17b-1-1) (6-19a-4-1) (6-19b-3-2) (6-23a-2-5)
aisi「利」	애시	(6-14a-3-1)
aisin「金」	애신	(6-11a-3-3) (6-13b-4-4) (6-15a-1-2)
akdambi「信頼する」	악담비	(6-5b-4-4)
akdarakū	악다라쿠	(6-18a-4-1) (6-19b-5-5)
akdun「頑丈な；信用ある」	악둔	(6-5b-5-5)
akta「去勢された家畜」	악타	(6-1b-1-7) (6-8a-6-1)
akū「無い」	아쿠	(6-1a-4-7) (6-2b-5-3) (6-9b-2-3) (6-9b-5-4) (6-11b-6-2) (6-12a-4-2) (6-13a-5-8) (6-17a-4-7) (6-17b-4-1) (6-18b-4-1) (6-19b-3-5)
alambi「告げる」	---	---
alara	아라라	(6-13b-6-4)
alambi「樺の皮を巻きつける」	---	---
alaha	아라하	(6-18b-5-5)
alan「樺の皮」	아란	(6-18b-5-4) (6-19b-3-3) (6-19b-5-1) (6-20a-2-5)
alban「公務；官；賦課」	알반	(6-16b-2-5)
aliyambi「待つ；後悔する」	아럄비	(6-6b-2-3)
aliya	아랴	(6-4a-4-5) (6-6b-1-4)
aliyafi	아랴피	(6-2a-6-4) (6-2b-1-2) (6-5a-3-4) (6-5a-5-1)
amala「後ろ(に)；後に；これから」	아마라	(6-2a-5-3) (6-2b-5-1)
amargi「北；後ろ」	아말기	(6-1b-3-6)
amasi「後ろに」	아마시	(6-2a-6-5) (6-2b-1-3) (6-5a-3-5) (6-5a-5-2) (6-6a-5-2)
amba「大きい」	암바	(6-11b-1-1) (6-12a-6-4) (6-12b-4-5) (6-17a-3-2)

[1] aibaningge は『淸語老乞大』原書では ere suje aibaningge という文脈に出現している。当該の文の原書における朝鮮語訳は「그리ᄒᆞ쟈이비단이어ᄃᆡ것고」である。すなわち、この箇所の aibaningge は「どこのもの」という意味である。この意味の語は『清文鑑』や『増訂清文鑑』では aibingge である。

[2] 王海波（2026e: 3）を参照されたい。

amji「父の兄」	암지	(6-21b-4-1)
amu「父の兄の妻」	아무	(6-21b-4-2)
an「日常；本分」	안	(6-14a-4-1)
anda「友」	안다	(6-11a-4-6) (6-12a-4-3)
anduhūri「冷淡な」	안두후리	(6-23a-3-3)
anggala「～よりもむしろ；～のみならず」	앙가라	(6-17a-3-6)
aniya「年」	아냐	(6-18a-2-5) (6-18a-3-1)
ara「ああ」	아라	(6-19a-5-1)
arambi「作る；書く；～のふりをする」	아람비	(6-4a-2-3)
arafi	아라피	(6-4a-5-4)
araha	아라하	(6-2a-2-6) (6-2b-6-3) (6-2b-6-5) (6-3a-3-3) (6-3a-5-1) (6-6b-5-1)[3]
arahabi	아라하비	(6-1a-2-5)
arahangge	아라항거	(6-5a-2-5)
arambihe	아람비허	(6-23a-5-7)
arame	아라머	(6-6a-6-5)
arara	아리라[4]	(6-3a-6-6)
	아라라	(6-16b-1-1) (6-16b-4-2)
asarambi「しまっておく；収蔵する」	---	---
asarafi	아사라피	(6-10b-5-2)
asuru「(後に否定を表す要素を伴って)あまり～ない」	아수루	(6-4b-1-3)
aša「兄の妻」	아샤	(6-21b-5-3)
atanggi「いつ」	아탕기	(6-4a-2-2)
ba「所；里(距離単位)」	바	(6-7b-3-6) (6-9b-5-3) (6-11a-6-3) (6-11b-3-4) (6-11b-5-1) (6-12b-1-5) (6-12b-5-5) (6-13a-5-3) (6-20a-5-3)
baci「所/里より」	바치	(6-12b-3-4) (6-13a-3-5) (6-14b-4-7)
bade「所/里に」	바더	(6-7a-5-7) (6-10b-2-6) (6-14a-2-2) (6-15b-4-1) (6-18a-4-4) (6-23b-3-1)
bahambi「得る」	---	---

[3] 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「아라하」が「아리하」のように見えるが、本来は「아라하」と書かれていたものと考えられる。

[4] 当該箇所(6-3a-6-6)の満洲文字表記・ハングル表記による満洲語文語は「

」のとおりに書かれている。満洲文字表記は一見 arira のようにも見える。しかし、Sulfa（私信）が指摘しているように、語頭の a の第 2 画と第 2 音節の母音の画の長さにさほど差がないことを考慮すると、第 2 音節の母音は a である（すなわち語全体は arara である）と考える方が合理的であろう。一方、ハングル表記は「아리라」となっている。なお、최동권 외（2012）の本文における満洲文字のメレンドルフ式転写は arira となっている（p. 357）が、書末の索引では「arara (6:3a)」と記されており（p. 507）、本文の綴りと一致しない。

bahaki	바하키	(6-14a-3-2)
baibi「徒らに；ただ」	배비	(6-10b-5-1) (6-20b-1-1)
baita「事」	배타	(6-9a-1-1)
baitalabumbi「使われる；使わせる」	배타라붐비	(6-2b-4-3)
baitalambi「使う」	---	---
baitalara	배타라라	(6-10a-2-4)
balai「みだりに」	바래	(6-14b-1-1) (6-15a-3-1)
baniha「感謝」	바니하	(6-23a-5-6)
banjimbi「暮らす；生む；生まれる」	---	---
banjiha	반지하	(6-21b-6-4) (6-22a-1-4)
basa「賃金」	바사	(6-3a-5-2) (6-3a-6-7) (6-3b-2-2) (6-3b-4-4)
be「私たち(除外的)」	버	(6-6b-2-4) (6-23a-5-1)
be「を」	버	(6-1b-2-3) (6-1b-4-4) (6-2a-1-5) (6-2a-2-4) (6-2a-4-4) (6-2b-3-3) (6-3a-5-3) (6-3b-1-1) (6-3b-2-3) (6-3b-6-2) (6-4a-1-1) (6-4a-2-1) (6-4a-3-1) (6-5a-6-4) (6-5b-2-4) (6-5b-6-1) (6-6a-4-7) (6-6b-3-2) (6-7a-1-4) (6-7a-5-3) (6-7a-6-5) (6-7b-1-5) (6-7b-3-4) (6-7b-5-1) (6-7b-6-3) (6-8a-3-4) (6-8b-1-6) (6-8b-3-1)[5] (6-8b-4-3) (6-8b-5-4) (6-9a-2-6) (6-9a-3-4) (6-9a-4-5) (6-10a-2-5) (6-10a-3-4) (6-10a-5-5) (6-10b-2-2) (6-10b-6-2) (6-11a-5-5) (6-11a-6-6) (6-12a-2-2) (6-12a-3-1) (6-12a-4-6) (6-12b-6-5) (6-13a-2-6) (6-13a-4-4) (6-13b-3-2) (6-13b-5-2) (6-14a-1-2) (6-14a-4-4) (6-14a-6-1) (6-14b-3-4) (6-14b-6-2) (6-15a-2-1) (6-15a-4-3) (6-15b-5-2) (6-17a-4-2) (6-17a-6-3) (6-17b-5-4) (6-18b-6-2) (6-19b-1-2) (6-19b-2-1) (6-19b-3-1) (6-20a-1-2) (6-20a-2-2) (6-20a-4-3) (6-20b-4-2) (6-20b-4-6) (6-21a-2-6) (6-21a-6-5) (6-21b-3-1) (6-23a-3-5) (6-23b-3-4)
bederebumbi「返す」	---	---
bederebuci	버드러부치	(6-2a-6-6) (6-5a-4-1)
bederebuki	버드러부키	(6-4b-6-4)
bedereburakū	버드러부라쿠	(6-2b-3-5) (6-5b-1-1)
bederebure	버드러부러	(6-5b-5-4)
bedereburengge	버드러부렁거	(6-2b-2-1) (6-5a-5-3)
benjimbi「送ってくる」	---	---
benju	번쥬	(6-6b-5-6)

[5] 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

beri「弓」	버리	(6-18b-1-1) (6-18b-2-3) (6-18b-3-1) (6-18b-3-6) (6-18b-6-1) (6-19a-2-5) (6-19a-3-4) (6-19a-5-3) (6-19b-1-1) (6-19b-1-6) (6-19b-2-6) (6-19b-4-6) (6-20a-4-2) (6-20b-3-5)
beye「体；自分」	버여	(6-10a-3-2) (6-16b-5-4) (6-17a-3-1)
bi「私」	비	(6-1a-2-6) (6-4a-5-1) (6-4b-1-1) (6-4b-3-1) (6-5a-1-1) (6-6a-6-3) (6-7a-5-1) (6-7b-2-3) (6-8b-2-1) (6-9a-2-3) (6-9a-5-3) (6-9b-4-4) (6-10a-1-4) (6-10b-1-4) (6-10b-4-1) (6-12a-2-4) (6-12b-4-3) (6-13a-1-5) (6-13a-3-2) (6-13b-3-4) (6-13b-5-4) (6-14a-1-4) (6-14b-1-4) (6-15a-6-1) (6-15b-3-4) (6-16a-3-2) (6-17a-1-3) (6-17b-5-6) (6-19a-1-1) (6-21a-1-6) (6-22b-6-1)
bi「ある；いる」	비	(6-10b-4-6) (6-12b-4-2) (6-16b-2-4) (6-16b-3-5) (6-16b-5-2)
bici	비치	(6-2b-2-2) (6-5a-5-4) (6-20b-3-3)
biheo	비헌	(6-16a-1-2)
bime	비머	(6-11b-1-8) (6-11b-5-5) (6-22b-4-5)
bio	빈	(6-11a-4-5) (6-12a-1-4) (6-13a-1-4) (6-18b-2-4)
bisire	비시러	(6-1b-1-3) (6-8a-5-5)
bisu	비수	(6-10b-1-3)
bibumbi「留める」	---	---
bibufi	비부피	(6-7a-3-3)
bithe「本；字；学識」	빋허	(6-1a-2-4) (6-2a-2-5) (6-2b-6-2) (6-2b-6-4) (6-3a-4-6) (6-3a-6-5) (6-4a-1-7) (6-4a-5-3) (6-5a-2-3) (6-5b-4-2) (6-5b-5-6) (6-6a-6-4) (6-6b-4-4)
boco「色；顔色；女色」	보쵸	(6-11a-3-1)
bocoi「色の」	보쵀	(6-11a-2-2)
boconggo「色のある」	보죵고	(6-11b-1-7)
bodombi「考える；計算する」	---	---
bodo	보도	(6-3b-3-2) (6-3b-5-3)
bodofi	보도피	(6-3b-6-3)
bodoho	보도호	(6-4a-1-3)
bodome	보도머	(6-6a-3-1)
bodorakū	보도라쿠	(6-10a-4-1)
boode「家/部屋に；家/部屋で」	볼더	(6-6b-3-4) (6-6b-5-5) (6-10a-6-4) (6-22b-2-4)
bošombi「追い出す」	---	---
bošome	보쇼머	(6-7b-5-2) (6-9a-6-3) (6-10b-2-3)
buda「飯」	부다	(6-22b-4-2)

buka「雄の羊」	부카	(6-8a-5-2)
bumbi「与える」	붐비	(6-3b-1-2) (6-3b-2-4)
bu	부	(6-10a-5-7)
buci	부치	(6-15a-5-4) (6-15b-6-5)
bufi	부피	(6-2b-4-2)
buhe	부허	(6-2a-3-5) (6-6a-4-1)
buki	부키	(6-6a-6-2) (6-9a-4-6)
bukini	부키니	(6-5b-1-4)
burakū	부라쿠	(6-15a-6-5) (6-15b-1-2)
bure	부러	(6-3a-4-4) (6-3a-5-4) (6-3b-6-5) (6-4a-6-1)
bureci (ci は格標識)	부러치	(6-5b-6-5)
burimbi「表を張る」	---	---
burici	부리치	(6-19b-5-2) (6-20a-3-1)
buriha	부리하	(6-19b-3-4)
cece「紗」	쳐쳐	(6-11a-4-2) (6-13b-1-5)
ceceri「無地の絹」	쳐쳐리	(6-12a-4-5) (6-12a-6-6) (6-12b-1-2) (6-12b-2-1) (6-12b-2-5) (6-12b-3-1) (6-12b-4-1) (6-12b-5-2) (6-12b-5-7) (6-12b-6-4) (6-13b-1-4)
cendembi「試す」	---	---
cendeme	쳔더머	(6-16a-2-2)
ceri「羅」	쳐리	(6-11a-4-3) (6-13b-1-6)
ci「より」	치	(6-12a-5-5) (6-14b-6-7) (6-17b-2-3) (6-18a-3-2)
cihai「任意に」	치해	(6-3b-5-2) (6-20b-5-2)
cihakū「好まない」	치하쿠	(6-4a-4-1) (6-9a-5-5)
cihalambi	---	---
cihalaci	치하라치	(6-9a-5-2)
cihalarakū	치하라라쿠	(6-15b-3-2)
cikten「幹、茎；矢柄」	칙턴	(6-21a-3-3) (6-21a-4-4)
cirgebumbi「弓の弦を外させる；地面や壁を叩いて固めさせる」	---	---
cirgebufi	칠거부피	(6-20a-4-5)
cisu「私心」	치수	(6-5b-3-3)
cohome「特に」	쵸호머	(6-16a-2-1) (6-18b-2-5)
cu (cu niru「火矢」)	츄	(6-21a-2-3)
cuse (cuse moo「竹」)	츄스	(6-21a-3-4)
da「根；本；起源；長；矢の序数詞；庹(長さの単位)」	다	(6-10a-3-1) (6-16b-2-2) (6-17a-2-3)
dabambi「越える」	---	---
dabatala「過分なまでに、度を越してまで」	다바타라	(6-8b-6-2)
daban (funcen daban「余裕」)	다반	(6-16b-6-4)

dagilambi「準備する」	---	---
dagilafi	다기라피	(6-21b-2-4)
dahambi「従う；投降する」	다함비	(6-19a-5-5)[6]
dahame	다하머	(6-2a-1-6) (6-4a-3-4) (6-10a-2-6) (6-17b-5-5)
dalambi「首領となる；両手を広げて長さを測る」	---	---
dalaha	다라하	(6-18b-1-4)
dalame	다라머	(6-17a-1-4)
dalara	다라라	(6-17a-4-5)[7]
damu「もっぱら；ただ；しかし」	다무	(6-9a-6-5) (6-10a-5-1) (6-12b-4-4) (6-13b-3-5) (6-20a-6-1) (6-23a-6-4)
dashūwan「弓袋；八旗のうちの左翼の四旗」	닷환	(6-21a-6-3)
de「に；で」	더	(6-1a-4-1) (6-1a-6-4) (6-1b-3-7) (6-1b-6-3) (6-2a-3-2) (6-2b-4-1) (6-3a-2-5) (6-3a-4-3) (6-3a-5-5) (6-3a-6-2) (6-3b-4-1) (6-3b-5-6) (6-4b-4-3) (6-4b-5-2) (6-5a-2-4) (6-5b-1-3) (6-5b-4-3) (6-6a-2-4) (6-6a-3-4) (6-8b-1-2) (6-8b-3-5) (6-8b-5-7) (6-9b-4-1) (6-11a-3-2) (6-13b-4-3) (6-14a-5-5) (6-15a-2-4) (6-15a-5-2) (6-16b-1-2) (6-16b-5-5) (6-18a-2-2) (6-19a-4-3) (6-19a-6-2) (6-20a-1-4) (6-20b-1-4) (6-21b-6-3) (6-22a-1-3) (6-23b-2-4)
deberen「動物の仔」	더버런	(6-8a-6-5)
dehema「母の妹の夫」	더허마	(6-22a-3-3)
deheme「母の妹」	더허머	(6-22a-3-2)

[6] 当該箇所の dahambi の『清語老乞大』原書における朝鮮語訳は「므르니」である。최동권 외 (2012: 389) が指摘しているように、ここの「므르니」は「무르니[柔]」を意味する。

[7] 満洲語文語 dalara の『清語老乞大』原書における朝鮮語訳は「밟ᄂᆞᆫ」である。原書のこの箇所の満洲語文語 dala- は「両手を広げて長さを測る」の意味を表す。一方、朝鮮語「밟-」は「（足で）踏む」などを意味し、「밟-」は「両手を広げて長さを測る」などを意味する（두산동아 사서편집국 1994: 887）。したがって、『清語老乞大』原書における朝鮮語訳「밟ᄂᆞᆫ」は、「밟ᄂᆞᆫ」の誤記であると考えられる。최동권 외（2012: 387）も、『清語老乞大』におけるこの誤記について言及している。

dengnekulembi「(金銀用の)小秤にかける」[8]	---	---
dengnekulefi	덩너쿠러피	(6-15b-6-4)
dengnekuleki	덩너쿠러키	(6-18a-5-5)
deo「弟」	더	(6-21b-5-2) (6-22a-1-2) (6-22a-5-3) (6-22a-5-6) (6-22a-6-6)
ding「漢語定」 (ding jeo「定州」)	딩	(6-13a-5-1)
doigonde「予め」	되곤더	(6-23a-5-4)
donjimbi「聴く」	---	---
donji	돈지	(6-1a-3-2)
dorgi「内」	돌기	(6-1a-3-5)
doron「官印」	도론	(6-1a-6-5) (6-5b-2-3)
duin「四」	뒨	(6-6a-4-4) (6-18a-1-6) (6-22a-4-5)

[8]『清語老乞大』の当該動詞語幹 dengnekule- は、dengneku「戥子」に動詞化接辞 -le が付いて形成された語であると考えられる。しかし、dengnekule- は『大清全書』や『増訂清文鑑』には見られない。一方、『満英辞典』（Norman 2013: 74）には dengnekulembi: to weigh on a small steelyard とある。

また、『増訂清文鑑』には、見出し語として dengnembi「戥子稱」（小秤にかける）、dengnembi「顛均馱子」（荷馱の左右を均等にする）、dengne「比較」（勝負をつけよ）が収録されている。このうち、「戥子稱」の意味は、『清語老乞大』・『満英辞典』に見られる dengnekule- と同様であると考えられる。しかし、dengnekulembi がこの「戥子稱」の意味に限定されるのに対し、dengnembi には他の意味も存在する。前述のように、『増訂清文鑑』には dengnembi「戥子稱」の他に、dengnembi「顛均馱子」と dengne「比較」も見出し語として収録されている。また、『清文彙書』における dengnembi の漢訳は「兩人彼此不服比較勝負。凡馱的馱子兩邊試較一樣重輕不偏手抬試之」である。すなわち、動詞語基に名詞化接辞を付け、さらに動詞化接辞を付けた派生語は、元の動詞よりも意味範囲が限定され、特定の基本的な意味を表す傾向がある。

表 2：「動詞語基-名詞化接辞-動詞化接辞」で基本的な意味に限定される例（1）：dengne-ku-le-

	元の動詞	動詞語基-名詞化接辞-動詞化接辞（基本的な意味に限定される）
	dengne-	**dengne-ku-le-**
意味 1：小秤にかける	『増訂清文鑑』dengnembi「戥子稱」	『清語老乞大』「ᄃᆞ-」
意味 2：荷馱の左右を均等にする	『増訂清文鑑』dengnembi「顛均馱子」 『清文彙書』dengnembi「凡馱的馱子兩邊試較一樣重輕不偏手抬試之」	
意味 3：勝負をつける	『増訂清文鑑』dengne「比較」 『清文彙書』dengnembi「兩人彼此不服比較勝負。」	

このような現象の例としては、他に etumbi と etukulembi が挙げられる。後者は「服を着る」という意味に限られるが、前者はそれ以外の意味もある。

表 3：「動詞語基-名詞化接辞-動詞化接辞」で基本的な意味に限定される例（2）：etu-ku-le-

	元の動詞	動詞語基-名詞化接辞-動詞化接辞（基本的な意味に限定される）
	etu-	**etu-ku-le-**
意味 1：服等を着る	『増訂清文鑑』etumbi「穿」 『清文彙書』etumbi「穿上。」	『増訂清文鑑』etukulere buleku「穿衣鏡」
意味 2：帽子等を被る	『清文彙書』etumbi「戴上。」	
意味 3：枷をはめる	『清文彙書』etumbi「以枷枷之。枷號之枷。」	

dung「漢語東」 (šan dung「山東」)	둥	(6-1b-5-2) (6-12a-6-3)
dzo「漢語涿」[9] (dzo jeo「涿州」)	조	(6-7a-5-5) (6-10b-2-4)
eberembumbi「衰えさせる；減らす」	---	---
eberembure	어버럼부러	(6-9a-2-7) (6-9a-3-5)
ebibumbi「飽食させる」	---	---
ebibuhekū	어비부히쿠[10]	(6-22b-4-4)
ede「これに因り；これに」	어더	(6-21a-5-3)
efu「姉の夫；妻の兄；妻の姉の夫；王公の婿」	어푸	(6-22a-4-1)
ehe「悪い」	어허	(6-2a-4-3) (6-14b-5-1) (6-19b-1-3)
elebumbi「満足させる」	---	---
eleburakū	어러부라쿠	(6-20b-1-5)
elhei「ゆっくりと」	얼헤	(6-19a-3-1)
elheken「やや緩やかな」	얼허컨	(6-7a-3-4)
emke「一つ」	엄커	(6-1b-2-2) (6-8a-2-1) (6-21a-1-2)
emken「一つ」	엄컨	(6-8a-2-2)[11]
emu「一」	어무	(6-3b-3-3) (6-3b-5-4) (6-4a-2-5) (6-7b-4-2) (6-16a-6-4) (6-21a-5-5) (6-22a-4-3) (6-22a-6-1)
enenggi「今日」	어넝기	(6-21b-2-1)
eniyei「母の」	어녜	(6-22a-2-1)
enteke「このような」	언터커	(6-8b-3-6)
ere「この；これ；この人」	어러	(6-1a-2-1) (6-2b-5-6) (6-3b-6-6) (6-4a-1-4) (6-4b-2-3) (6-7b-3-1) (6-7b-6-1) (6-8a-5-1) (6-8b-3-3) (6-9b-3-3) (6-13b-1-1) (6-13b-6-5) (6-14a-4-6) (6-14b-3-1) (6-14b-4-1) (6-16a-5-3) (6-16b-1-4) (6-17a-5-3) (6-17b-1-3) (6-18a-2-4) (6-18b-5-2) (6-19a-5-2) (6-19a-6-5) (6-19b-2-5) (6-19b-4-1) (6-20a-4-1) (6-20b-5-5) (6-20b-6-3) (6-21a-1-1) (6-21a-3-2) (6-21a-4-3) (6-23a-1-3) (6-23a-3-1)
ergi「方向」	얼기	(6-1a-6-2)
erin「時」	어린	(6-2a-1-2)
eshen「父の弟」	엇헌	(6-21b-4-3)
esike「もう十分、もう沢山」	어시커	(6-5a-1-4)

[9]『對音輯字』（上巻第 12 葉 b 面）では、漢字「涿」に対応する満洲文字は jo である。一方、『清語老乞大』において「涿州」の「涿」は、dzo に対応する形で現れている。なお、『三譯総解』における「涿郡」の「涿」(10-19a-4-8)も、dzo に対応する形で現れている（王海波 2026a: 44 参照）。

[10] 原書の当該箇所では、「어비부허쿠」ではなく「어비부히쿠」と記されている。これは誤記であるか、あるいは墨の欠落によるものと考えられる。

[11] 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

etuku「服」	어투쿠	(6-16a-6-5) (6-16b-4-1) (6-16b-6-1)
etumbi「着る；はく；被る；枷をはめる」	---	---
etuci	어투치	(6-11b-2-4)
etuki	어투키	(6-14a-1-5)
eture	어투러	(6-16b-5-6)
eyun「姉」	어윤	(6-21b-5-5) (6-21b-6-1) (6-22a-2-2)
fejergi「下」	퍼졀기	(6-3a-2-4)
feniyen「群れ」	퍼년	(6-7b-4-3)
fiya「樺の木」	퍄	(6-21a-4-5)
fiyanarambi「心にもないことを言う；火熨斗をかける」	---	---
fiyanarame	퍄나라머	(6-23b-1-3)
foholon「短い」	포호론	(6-20a-6-4)
fu「漢語府」 (ji nan fu「済南府」)	푸	(6-1b-5-5)
fulaburu「赤みがかった青」	푸라부루	(6-11a-2-1)
fulgiyan「赤い；丙」	풀갼	(6-11a-2-4)
fulu「余りのある；優れた」	푸루	(6-15a-6-3)
fun「漢語分」	푼	(6-3b-6-1) (6-6a-2-8) (6-6a-4-5)
funcembi「余る」	---	---
funcehe	푼쳐허	(6-10b-4-4)
funceme	푼쳐머	(6-16b-2-3)
funcen (funcen daban「余裕」)	푼쳔	(6-16b-6-3)
funiyehe「髪；毛」	푸녀허	(6-8b-5-1)
gaimbi「とる」	갬비	(6-8b-3-2) (6-14a-6-2)
gaiki	개키	(6-8b-1-7) (6-8b-4-4) (6-14b-6-3)
gaire	개러	(6-14b-1-2)
gaisu	개수	(6-14a-4-5)
gajimbi「持って/取って/連れてくる；取り/連れに来る」[12]	---	---
gajifi	가지피	(6-18b-6-3) (6-21b-3-3)
gajiha	가지하	(6-1a-5-4)
gajiki	가지키	(6-7b-1-2)
gajime	가지머	(6-22b-2-5)
gaju	가쥬	(6-6a-5-3) (6-16a-3-1) (6-20b-3-4)
gala「手」	가라	(6-17a-3-3)
gamambi「持って/取って/連れていく」	가맘비	(6-4b-3-4)
gama	가마	(6-9a-6-4)
gamaha	가마하	(6-4b-4-2)

[12] gaji- の意味に関しては、早田輝洋（1993）を参照されたい。

gamaki	가마키	(6-21b-1-1)
gamame	가마머	(6-10b-6-5) (6-14a-2-3)
gebu「名」	거부	(6-3a-2-3)
gelembi「恐れる」	거럼비	(6-19a-4-4)
geli「また」	거리	(6-19b-2-2) (6-20b-6-4) (6-21a-2-1) (6-22b-5-3)
gemu「皆」	거무	(6-2a-3-3) (6-3a-2-6) (6-4a-1-2) (6-4b-4-6) (6-6b-1-2) (6-11a-4-4) (6-13b-2-1) (6-14b-3-5) (6-20a-5-4) (6-22b-2-2) (6-23a-1-6)
gemun「都」	거문	(6-1b-2-4)
genembi「行く」	거넘비	(6-6a-6-6) (6-6b-4-2) (6-15b-4-3)
gene	거너	(6-4a-3-5)
geneci	거너치	(6-7b-2-2)
genefi	거너피	(6-4a-5-2) (6-7a-6-1) (6-10a-6-5) (6-10b-2-7)
geneki	거너키	(6-10b-6-7)
geo「牝の(馬等)」	걷	(6-8a-6-6)
gese「～のような」	거서	(6-23a-3-2)
getuken「明白な」	거투컨	(6-5a-2-7)
gidambi「押さえる；隠す；打ち負かす；頭を垂れる；塩漬けにする；鳥が卵を抱く」	---	---
gidaha	기다하	(6-1b-1-1)
ging「漢語京」 (nan ging「南京」)	깅	(6-11a-5-2) (6-11b-1-4) (6-14b-6-6) (6-17b-2-2)
giranggi「骨」	기랑기	(6-23a-2-2)
gisun「言葉」	기순	(6-8b-6-4) (6-23a-3-4)
gisurembi「話す」	기수럼비	(6-16a-2-3) (6-23a-3-6)
gisure	기수러	(6-9a-1-4)
gisureki	기수러키	(6-8a-3-5)
gisurere	기수러러	(6-9b-1-6) (6-15a-3-3)
giya「漢語嘉」 (giya hing「嘉興」)	갸	(6-12a-3-4)
giyai「街路(漢語街)」	걔	(6-1b-3-5)
giyan「理」	갼	(6-23a-5-2)
goidambi「久くなる」	---	---
goidame	괴다머	(6-11b-2-3)
goidarakū	괴다라쿠	(6-20a-3-3)
gojime「とはいえ」	고지머	(6-22b-3-4)
golmin「長い」	골민	(6-17a-3-4)
gu「父の姉妹(漢語姑)」	구	(6-22a-3-4)
gucu「友達」	구츄	(6-4a-2-6) (6-10a-6-1)

gufu「父の姉妹の夫(漢語姑父)」	구푸	(6-22a-3-5)
gulu「無地の；純朴な」	구루	(6-23a-6-5)
gūnimbi「思う」	---	---
gūnici	구니치	(6-10b-4-2)
gūnin「心；意；考え」	구닌	(6-15a-5-1) (6-20b-1-3)
gūwa「別の；別の人」	과	(6-4b-4-4) (6-7a-6-3) (6-15b-3-5) (6-18a-4-3) (6-20a-5-1) (6-23b-2-2)
hadambi「靴底を縫いつける；釘付けにする；見つめる」	---	---
hadaha	하다하	(6-19b-6-2)
hafirabumbi「追い詰められる」	---	---
hafirabufi	하피라부피	(6-10a-2-2)
hala「姓」	하라	(6-3a-1-2) (6-3a-1-6) (6-22a-4-4) (6-22a-6-2)
halangga「～姓の(人)」	하랑가	(6-1a-4-4) (6-1b-4-2) (6-1b-6-1)
hang「漢語杭」 (hang jeo「杭州」)	항	(6-11b-3-2)
hashū「左」	핫후	(6-1a-6-1)
hebešembi「相談する、協議する」	---	---
hebešeme	허버셔머	(6-15b-4-2)
hecen「城」	허쳔	(6-1b-2-5)
hendumbi「言う」	---	---
hendure	헌두러	(6-19b-2-4) (6-23b-4-2)
heni「ほんの少し」	허니	(6-9b-5-1)
hergen「字；掌蹠紋；爵、職位」	헐건	(6-3a-3-2)
hing「漢語興」 (giya hing「嘉興」)	힝	(6-12a-3-5)
hojihon「婿」	호지혼	(6-22a-3-1)
holo「嘘；山谷；牝瓦；畝の間の溝」	호로	(6-8b-6-3)
holtombi「騙す」	---	---
holtorakū	홀토라쿠	(6-17b-6-1)
hon「甚だ」	혼	(6-20b-6-1)
honin「羊；未」	호닌	(6-1b-3-2) (6-7a-5-2) (6-7b-1-4) (6-7b-3-3) (6-7b-4-5) (6-7b-6-2) (6-8a-5-3) (6-8a-5-6) (6-8a-6-2) (6-8b-3-4) (6-8b-5-3) (6-10b-2-1)
hono「なお」	호노	(6-23b-2-5)
hoton「城」	호톤	(6-1a-3-4)
hū「漢語湖」 (hū jeo「湖州」)	후	(6-13a-3-3)

hūda「値段；商売」	후다	(6-2a-1-4) (6-2a-5-1) (6-3a-1-4) (6-3a-4-1) (6-3a-4-5) (6-3b-1-5) (6-6a-3-2) (6-8a-3-3) (6-8b-1-5) (6-8b-4-2) (6-8b-5-6) (6-9b-3-4) (6-14a-4-3) (6-14b-3-3) (6-15a-2-3) (6-15a-4-2) (6-15b-2-6) (6-15b-5-1) (6-17b-4-2) (6-17b-6-2) (6-18a-3-3) (6-20a-2-1)
hūdai「値段/商売の」	후대	(6-1b-3-4) (6-14a-2-1)
hūdašambi「商売する」	후다샴비	(6-18b-4-4)
hūdašame	후다샤머	(6-10b-6-6)
hūdašara	후다샤라	(6-14b-2-1)
hūlambi「読む；呼ぶ；雄鶏が鳴く」	---	---
hūlara	후라라	(6-1a-2-7)
hūncihin「親類」	훈치힌	(6-21b-2-6) (6-23b-3-3)
i「の；で」	이	(6-1b-3-1) (6-1b-3-3) (6-2a-1-3) (6-2a-4-1) (6-4a-1-6) (6-5a-1-3) (6-7a-3-5) (6-7b-4-4) (6-8a-2-3) (6-8a-6-4) (6-11a-3-4) (6-11a-6-4) (6-11b-3-5) (6-11b-5-2) (6-12b-1-6) (6-12b-2-4) (6-12b-5-1) (6-12b-5-6) (6-12b-6-3) (6-13a-5-4) (6-13b-6-3) (6-14a-4-2) (6-14a-5-2) (6-14b-4-3) (6-15a-1-3) (6-16b-2-6) (6-23a-5-3)
i「漢語易」 (i jeo「易州」)	이	(6-12b-3-2)
icakū「気に入らない」	이챠쿠	(6-19a-6-4)
igen「弓筈」	이건	(6-20a-6-2)
ijumbi「塗り付ける」	---	---
ijuhabi	이쥬하비	(6-11b-5-7)
ilan「三」	이란	(6-8b-2-3) (6-9b-2-1)
ilata「三つ毎」	이라타	(6-3b-5-7) (6-6a-2-7)
ilibumbi「立たせる；立てる；止める」	---	---
ilibure	이리부러	(6-7b-3-5)
ina「姉妹の子」	이나	(6-21b-6-5)
ini「彼の；彼女の」	이니	(6-1a-5-2)
inu「そうだ；是；も」	이누	(6-6a-4-8) (6-7b-2-4) (6-9b-4-5) (6-15a-6-4) (6-15b-1-1) (6-17a-4-3) (6-17b-3-5) (6-20a-3-2)
isheliyen「狭い」	잇허련	(6-12b-3-6)
isimbi「足りる；至る、及ぶ、届く」	이심비	(6-16b-1-3) (6-16b-6-5) (6-17a-2-4)
ja「安い；易しい」	쟈	(6-18a-1-4)
jaci「甚だ」	쟈치	(6-20b-6-5)

jafakū「弓柄」	쟈파쿠	(6-19a-5-4)
jai「第二；再び；更に」	쟤	(6-6a-1-2) (6-7a-6-2) (6-8a-3-2) (6-13b-2-3) (6-18a-5-3)
jaka「物；隙間；所；～たばかり」	쟈카	(6-21b-2-3)
jakūn「八」	쟈쿤	(6-6a-2-1) (6-16b-3-3)
jalahi (jalahi jui「兄弟の子」)	쟈라히	(6-22a-1-5)
jalan「世；世代；節；兵の一隊；甲喇(軍団の単位)」	쟈란	(6-22a-5-1) (6-22a-6-4)
jalin「為」	쟈린	(6-14a-3-4)
jang「漢語張」	쟝	(6-3a-2-1)
je「はい(応答の語)」	져	(6-6a-5-4) (6-8a-1-1) (6-10a-1-1) (6-17a-5-1)
jebele「矢袋；八旗のうちの右翼の四旗」	져버러	(6-21a-6-4)
jembi「食べる」	---	---
jetere	져터러	(6-21b-2-2)
jeo「漢語州」 (ding jeo「定州」) (dzo jeo「涿州」) (hang jeo「杭州」) (hū jeo「湖州」) (i jeo「易州」) (su jeo「蘇州」)	졔	 (6-13a-5-2) (6-7a-5-6) (6-10b-2-5) (6-11b-3-3) (6-13a-3-4) (6-12b-3-3) (6-11a-6-2) (6-11b-4-5) (6-12b-1-4) (6-12b-5-4) (6-14b-4-6)
jerde「紅馬」	졀더	(6-1b-1-6)
jergi「階級；類い；回；凡庸な」	졀기	(6-19b-4-4)
ji「漢語済」 (ji nan fu「済南府」)	지	 (6-1b-5-3)
jiha「金銭；銭(重さの単位)」	지하	(6-1a-4-6) (6-6a-4-3) (6-9a-2-5) (6-9a-3-3)
jimbi「来る」	짐비	(6-10b-3-2)
jifi	지피	(6-22b-2-6)
jihe	지허	(6-15a-1-1) (6-17b-2-4) (6-18a-5-1)
jihebi	지허비	(6-7b-5-3)
jime	지머	(6-15b-6-1)
jingkini「本当の；正しい；正副の正」	징키니	(6-17b-5-1) (6-23a-2-1)
jodombi「織る」	---	---
jodoho	죠도호	(6-11a-3-5) (6-11b-4-1) (6-13b-4-6) (6-14a-5-3) (6-15a-1-4)
jodon「葛布」	죠돈	(6-7a-1-3) (6-7a-4-2)
jui「子」	쥐	(6-21b-6-6) (6-22a-1-6)

jurgan「行；義；部院(中央官庁)」	쥴간	(6-12a-5-4) (6-12b-4-6)
jušuru「尺」	쥬슈루	(6-16a-6-2) (6-16b-2-7) (6-16b-3-4) (6-16b-4-3) (6-16b-5-1)
juwan「十」	쥰	(6-2a-2-1)
juwe「二」	쥬워	(6-2a-2-2) (6-3b-4-2) (6-6a-4-2) (6-9a-4-2) (6-9b-1-1)
kai「指定や断定の終助詞」	캐	(6-7b-3-7) (6-11b-6-3) (6-14b-5-3) (6-23a-2-4) (6-23a-6-1)
kemuni「しょっちゅう；まだ」	커무니	(6-7a-1-5)
kimcimbi「詳察する」	---	---
kimcihakū	킴치하쿠	(6-4b-1-4)
kimcime	킴치머	(6-2a-4-7) (6-8a-2-4) (6-17b-3-2)
kokirambi「傷つける」	---	---
kokirara	코키라라	(6-10a-3-3)
komso「少ない」	콤소	(6-15a-6-6)
kooli「常例」	콜리	(6-3a-6-1) (6-17a-4-6)
labdu「多い」	랍두	(6-13a-1-6)
lak (lak seme「ぴたりと」)	각	(6-21a-1-3)
lii「漢語李」	리	(6-1b-5-6)
liyoodung「漢語遼東」	랴둥[13]	(6-1a-3-3)
majige「少し」	마지거	(6-17b-3-4) (6-20a-6-3)
maktambi「投げる；賞賛する」	---	---
maktaha	막타하	(6-19b-6-4)
mangga「難しい；硬い；強い；高価な」	망가	(6-8b-4-1) (6-17b-6-3) (6-18a-3-4) (6-19a-1-4)
manggi「～た後」	망기	(6-6b-5-2) (6-18a-5-2) (6-20a-2-4)

[13]『三譯総解』と『清語老乞大』における「遼東」の満洲語の満洲文字表記とハングル表記のいずれにも違いが見られる。「遼東」の満洲語は『三譯総解』において 2 例出現しているが、満洲文字表記はいずれも liyoo dung となっており、ハングル表記はいずれも「료 둥」となっている。『三譯総解』における「遼東」の満洲語の出現箇所は、(3-6a-3-4/5), (8-16a-3-5/6)である。一方、『清語老乞大』における「遼東」の満洲語の満洲語表記とハングル表記はそれぞれ liyoodung と「랴둥」である。

mangginambi「鼻水が出る」[14]	---	---
mangginaha	망기나하	(6-4b-5-1)
mangginahabi	망기나하비	(6-4b-2-6)
meimeni「各々」	메머니	(6-3a-2-2) (6-3b-3-1)
mejigelembi「消息を探る」	---	---
mejigelefi	머지거러피	(6-18a-4-5)
menggun「銀」	멍군	(6-2a-1-8) (6-2b-2-4) (6-5a-6-1) (6-5b-5-1) (6-6a-2-3) (6-6a-4-6) (6-8b-2-5) (6-9a-4-4) (6-10a-2-3) (6-10a-5-4) (6-10b-4-5) (6-15b-6-3) (6-16a-2-4) (6-18a-5-4)
meye「妹の夫；妻の妹の夫」	머여	(6-22a-4-2)
mimbe「私を」	밈버	(6-4a-3-3)

[14] 当該動詞語幹 manggina- は、『大清全書』と『増訂清文鑑』では manggiyana- と綴られている。『大清全書』における見出し語 manggiyanaha -mbi「流清鼻子。人的鼻子堵住了。生創。馬流鼻子。」および『増訂清文鑑』における見出し語 manggiyanahabi「淌鼻濕」を参照されたい。도정업（2022: 9）は、iye/iya が i として現れる現象を紹介する際に、この例を挙げている。

また、筆者の確認では、当該語が『清語老乞大』以外の清学書における用例も語幹形が manggiyana- である。具体的には、『同文類解』(2-38a-4-3)には「망갸나하비」（manggiyanahabi）「瘙了」、『漢清文鑑』(14-33a-8-1)には manggiyanahabi「망갸나하비」「淌鼻濕」が収録されている。南廣祐（1997: 926）における見出し語「신코」には「신코 지다: 淌鼻濕(漢清 14:32)」の記述があるが、「14:32」は「14:33」の誤記である。なお、『八歳兒』・『小兒論』・『三譯総解』には当該語幹の用例がない。

さらに、関連する語として、wanggiyana- が挙げられる。『増訂清文鑑』における見出し語 wanggiyanahabi「傷風」や『満漢同文分類全書』における見出し語 wanggiyanahabi「鼻齆了」を参照されたい。清学書のうち、『同文類解』(2-6a-10-3)には「왕갸나하비」（wanggiyanahabi）「害鼻淵」、『漢清文鑑』(8-2b-7-1)には wanggiyanahabi「왕갸나하비」「傷風」が収録されている。但し、wanggina- という形式は見られない。

清学書における manggiyana- などの用例は、次表のとおりに整理することができる。

表 4：清学書における manggiyana- などの用例

	manggiyana-	manggina-	wanggiyana-	wanggina-
清語老乞大	---	mangginahabi (6-4b-2-6) mangginaha (6-4b-5-1)	---	---
同文類解	망갸나하비 (2-38a-4-3)	---	왕갸나하비 (2-6a-10-3)	---
漢清文鑑	manggiyanahabi (14-33a-8-1)	---	wanggiyanahabi (8-2b-7-1)	---
八歳兒	---	---	---	---
小兒論	---	---	---	---
三譯総解	---	---	---	---

なお、manggiyana- と wanggiyana- に対応する名詞は、それぞれ manggiyan と wanggiyan である。manggiyan は『増訂清文鑑』における見出し語 manggiyan「鼻濕」および『満漢同文分類全書』における見出し語 manggiyan「生鼻涕」を参照されたい。wanggiyan は『増訂清文鑑』には収録されていないが、『満漢同文分類全書』には収録されている。wanggiyan oforo「齆鼻」を参照されたい。

表 5：『増訂清文鑑』と『満漢同文分類全書』における manggiyan と wanggiyan

	manggiyan	wanggiyan
増訂清文鑑	manggiyan「鼻濕」	---
満漢同文分類全書	manggiyan「生鼻涕」	wanggiyan oforo「齆鼻」

minde「私に」	민더	(6-5b-6-4) (6-6a-5-1) (6-10a-5-2) (6-10b-4-3) (6-12a-5-3)
mini「私の」	미니	(6-6a-1-3) (6-6b-5-3) (6-20b-1-2)
miyalimbi「測る」	---	---
miyaliki	먀리키	(6-16a-5-2)
miyamimbi「飾る；化粧する」	---	---
miyamirengge	먀미렁거	(6-23b-2-1)
moo「樹木；木材；棒」	모	(6-21a-4-1) (6-21a-5-1)
morin「馬；午」	모린	(6-1b-2-1) (6-2a-3-6) (6-4a-1-5) (6-4b-2-4) (6-4b-4-5) (6-6b-3-1)
mujilen「心」	무지런	(6-22b-6-2)
mukūn「同族；群れ」	무쿤	(6-22b-1-2)
muse「私たち(包括的)」	무스	(6-16a-5-1) (6-23a-1-1)
muwa「太い；粗末な」	무와	(6-12b-2-6) (6-20b-6-6)
nadan「七」	나단	(6-14a-5-6) (6-14b-5-5) (6-16b-2-1) (6-17a-2-2)
nakambi「やめる」	---	---
naka	나카	(6-9a-3-6) (6-9b-6-5) (6-14b-1-3)
nakcu「母の兄弟」	낙츄	(6-22a-2-3)
nan「漢語南」 (ji nan fu「済南府」) (nan ging「南京」)	난 (6-1b-5-4) (6-11a-5-1) (6-11b-1-3) (6-14b-6-5) (6-17b-2-1)
narhūn「細い、細かい」	날훈	(6-2a-1-7) (6-11b-2-1) (6-15a-1-5) (6-20b-6-2)
narhūšambi「細かくする；倹約して使う；秘密にする」	---	---
narhūšame	날후샤머	(6-8a-2-5)
ne「現在」	너	(6-10a-2-1)
nehu「女中」[15]	너후	(6-22b-1-5)
neimbi「開く」	---	---
neifi	네피	(6-18b-3-4)
neigen「平均」	네건	(6-11b-4-3)
nekcu「夫の兄弟の妻」	넉츄	(6-22a-2-4)
nekeliyen「薄い」	너커련	(6-11b-5-4)
nenembi「先行する」	---	---
nenehe	너너허	(6-3a-5-6)
nergin「機会、折」	널긴	(6-2a-3-1)
nerkimbi「折り畳まれた物や巻かれた物を広げる」	---	---

[15] 当該語は有圏点満文において nehu の他に nehū（h は軟口蓋の h）の形式もある。詳細は早田輝洋（2010: 58-59）を参照されたい。なお、『同文類解』(1-14a-3-2)には「너[°후]」（nehu）「女幇子」が収録されている。

nerki	널키	(6-17a-1-2)
ni「の；で」	니	(6-11a-5-3) (6-11b-1-5)
nikedembi「どうにかできる」	---	---
nikedeme「かろうじて」	니커더머	(6-20a-5-5)
niman「山羊」	니만	(6-8a-6-3) (6-8b-1-1)
ningge「～であるもの」	닝거	(6-21a-4-2) (6-21a-5-2)
ninggun「六」	닝군	(6-22a-6-3)
niowanggiyan「緑の；甲」	뇽갼	(6-16a-5-4)
niru「矢；佐領(軍隊単位名)」	니루	(6-21a-2-4)
niyalma「人」	냘마	(6-1a-4-5) (6-1b-4-3) (6-1b-6-2) (6-2a-4-6) (6-2b-3-6) (6-3a-1-1) (6-3a-6-4) (6-3b-1-4) (6-5b-1-2) (6-14b-2-2) (6-17b-5-3) (6-19b-5-4) (6-20a-1-3) (6-23b-2-3)
niyalmai「人の」	냘매	(6-3b-4-3)
niyaman「親；親族；心臓；樹心」	냐만	(6-21b-2-5) (6-23b-3-2)
non「妹」	논	(6-21b-5-6) (6-21b-6-2)
nonggimbi「添える」	---	---
nonggire	농기러	(6-9b-5-2)
nure「酒(粟や黍などを原料として醸造した酒)」	누러	(6-22b-5-2)
obumbi「する」	오붐비	(6-5b-3-2)
obufi	오부피	(6-1b-4-6)
odzy「日本(漢語倭子)」[16]	오즈	(6-12b-1-1)
oforo「鼻」	오포로	(6-4b-2-5)
oke「父の弟の妻」	오커	(6-21b-4-4)
ombi「なる」	옴비	(6-20a-5-6)
oci	오치	(6-4a-4-2) (6-4b-6-2) (6-5a-1-6) (6-5b-2-2) (6-5b-3-4) (6-7a-3-1) (6-9a-2-2) (6-9a-6-1) (6-9b-2-4) (6-9b-6-4) (6-15b-2-1) (6-15b-3-3) (6-16a-3-5) (6-16b-3-1) (6-16b-4-4) (6-18a-1-1) (6-18a-1-5) (6-18a-4-2) (6-18b-4-2) (6-19a-1-5) (6-19a-3-5) (6-23a-4-3)
	으치[17]	(6-9b-1-4)
ocibe	오치버	(6-11b-2-2) (6-14b-2-4) (6-23a-6-3)
ofi	오피	(6-1a-5-1) (6-19b-6-1) (6-20a-6-5)

[16] 満洲文字において漢語 c, z, r, s, ch, zh など（便宜上、ここでは漢語音をピンインで表記する）に対応する文字のメレンドルフ式転写については、von Möllendorff（1892）本文前の THE ALPHABET 表下の For transcribing Chinese syllables、および早田輝洋（2008: 32）を参照されたい。なお、早田輝洋（2008: 32）は、メレンドルフ式転写を改良する独自の転写案を提示している。例えば、漢語の z, zi に対応する満洲文字の転写を区別し、それぞれ dz, dzY と転写する。本稿でも早田輝洋（2008: 32）に従って両者を区別するが、後者については dzy と転写する。

[17] 原書の当該箇所では、「오치」ではなく「으치」と記されている。これは誤記であるか、あるいは墨の欠落によるものと考えられる。

ojorahū	오죠라후	(6-2b-5-4)
ojorakū	오죠라쿠	(6-2a-6-7) (6-5a-4-2) (6-9b-3-1) (6-9b-4-2) (6-11b-3-1) (6-23b-2-6)
okini	오키니	(6-10a-1-2) (6-17a-5-2)
omibumbi「飲ませる」	---	---
omibuha	오미부하	(6-22b-5-1)
onggolo「～前に」	옹고로	(6-4b-1-2) (6-15b-5-5)
orho「草」	올호	(6-6b-3-5)
orhoda「朝鮮人参」	올호다	(6-7a-1-2)
orin「二十」	오린	(6-16b-3-2) (6-16b-4-5)
puseli「店」	푸스리	(6-18b-1-3) (6-18b-3-3)
sadun「姻戚」	사둔	(6-22b-1-1)
saikan「美しい；ちゃんと」	새칸	(6-10b-1-1)
sain「良い」	샌	(6-2a-4-2) (6-2b-2-3) (6-8b-5-2) (6-10a-5-3) (6-11a-4-1) (6-12a-1-2) (6-12a-4-1) (6-12a-6-5) (6-13a-5-7) (6-15a-1-6) (6-16a-3-4) (6-17b-2-5) (6-18b-2-2) (6-18b-3-5) (6-19a-3-3) (6-19b-4-5) (6-21a-1-5) (6-21a-6-2) (6-23b-1-2)
sajirtu「胸背(両面が装飾された絹織物)」[18]	사질투	(6-11a-2-3) (6-13b-5-1) (6-14a-5-4) (6-14b-4-2)
sambi「知る」	삼비	(6-14b-3-6) (6-15a-4-4) (6-17a-6-4)
saci	사치	(6-15b-5-3)
sasa「一緒に」	사사	(6-7b-2-5) (6-10b-6-4)
se「歳；年齢」	서	(6-1b-1-5)
se (se sirge「生糸」)	서[19]	(6-12b-2-2) (6-12b-6-1) (6-13a-1-2) (6-13a-2-4) (6-13a-4-2) (6-13a-5-5)

[18] 当該語 sajirtu の『清語老乞大』原書における朝鮮語訳は、漢字で「胸背」と書かれている。sajirtu は『大清全書』や『増訂清文鑑』には収録されていない。Stary（2008: 155）はこの語に言及しており、ドイツ語で beiderseitig verzierter Seidenstoff（両面が装飾された絹織物）と訳している。『新滿漢大詞典』第一版（胡增益 1994: 631）には見出し語 sajirtu は収録されていない。ただし、見出し語 fulaburu の例文には sajirtu（原書の綴りは sazhirtu）が出現している。この例文は、まさに『清語老乞大』の当該箇所の例文である。一方、『新滿漢大詞典』第二版（胡增益 2020: 1001）には、見出し語として sajirtu（原書の綴りは sazhirtu）が収録されており、漢訳は『清語老乞大』の朝鮮語訳と同じ「胸背」であり、例文も『清語老乞大』の当該箇所の例文である。

[19]『清語老乞大』原書の当該箇所における se は se sirge に出現しており、原書における se sirge の朝鮮語訳は、漢字で「白絲」と書かれている。『大清全書』には、見出し語 se sirge「絲」がある。『清文鑑』の見出し語 se の説明文には、eshun sirge be se sirge sembi（生糸を se sirge という）とある。Schmidt（1933: 386）によれば、se sirge における se の語源は漢語の「絲」である。このことから、se sirge の se のハングル表記は、「스」ではないかと推測される。一方、『清語老乞大』(6-12b-2-2/3)における se sirge の se のハングル表記は「스」ではなく「서」である。なお、『同文類解』(2-24b-6-2/3)には「서 실거」（se sirge）「生絲」が収録されており、同じように、se sirge の se のハングル表記は「스」ではなく「서」である。

sebe「～たちを」	스버	(6-13b-1-7)[20] (6-22b-2-1)
sembi「言う」	슴비	(6-8a-1-3) (6-8b-1-8) (6-13a-3-1)
se	스	(6-4a-3-6)
seci	스치	(6-8a-1-6) (6-8b-4-5) (6-9b-4-3) (6-9b-6-1) (6-14b-6-4) (6-15a-4-5) (6-19b-1-4)
sehebi	스허비	(6-5b-1-5)
sembime	슴비머	(6-17a-6-5)
sembio	슴뵈	(6-4b-6-5) (6-7b-6-5) (6-12a-5-2)
seme	스머	(6-2a-6-3) (6-2b-5-5) (6-5a-3-3) (6-9b-2-6) (6-15b-2-4) (6-21a-1-4)
sere	스러	(6-14a-3-3) (6-17a-3-5)
serengge	스렁거	(6-14a-1-6)
sese「金糸」	서서	(6-14a-4-7)
si「あなた」	시	(6-1a-3-1) (6-3b-2-5) (6-4a-2-4) (6-4b-6-3) (6-5b-4-5) (6-6b-4-3) (6-7a-1-1) (6-7b-1-3) (6-7b-5-5) (6-8a-1-4) (6-9a-1-2) (6-9a-3-1) (6-9a-5-1) (6-9a-6-2) (6-9b-3-2) (6-9b-5-5) (6-10a-6-2) (6-11a-4-7) (6-12a-1-5) (6-12a-4-4) (6-13a-2-2) (6-13a-5-9) (6-13b-1-8) (6-14a-3-5) (6-14a-6-3) (6-14b-5-4) (6-15a-3-4) (6-15b-3-1) (6-15b-4-4) (6-17a-1-1) (6-17a-6-1) (6-17b-3-1) (6-17b-4-4) (6-18b-5-1)
siden「間 ;中央 ;証人 ;公の」	시던	(6-1b-4-5) (6-5b-2-1)
sidende「間に」	시던더	(6-7a-4-4)
silemin「疲労耐性の高い ; 丈夫な ; 噛み切れない ; ぐうたらな」	시러민	(6-11b-6-1)
simbe「あなたを」	심버	(6-6b-2-2)
sindambi「置く ; 放つ」	---	---
sinda	신다	(6-20a-4-6)

[20] 河内（1996: 69-70）によれば、満洲語の複数標識は、厳密に言えば「複数」ではなく、日本語の「達」のように「その他」（et al.）という意味であり、主に人間に用いられるが、人間以外の動物に対しても例外的に用いられることがある。

しかし、『清語老乞大』の原書における当該箇所では、複数接辞 se を伴った sebe が suberi suje ceceri cece ceri といった無生物に対して用いられている。原文は ere suberi suje ceceri cece ceri sebe si gemu udahabi であり、原書における朝鮮語訳は「이綾과비단과깁과紗羅들을네다사시니」である。当該の sebe に対応する朝鮮語訳は「들을」である。ここで「들」は複数標識（満洲語の se に相当）であり、「을」は対格標識（満洲語の be に相当）である。朝鮮語の複数標識「들」は無生物に用いられることがある。しかし、『清語老乞大』におけるこの sebe の se の使用を、朝鮮語の影響（すなわち、もしこの満洲語の文が朝鮮語を母語とする者によって書かれたのであれば、その母語の影響）に直ちに帰することはできない。無生物に複数接辞が用いられる例は、初期の満洲語文献にも若干見られるからである。

例えば、『満文原檔』列字檔には無圏点満文の aisin i boya alisa がある（影印画像は馮明珠 2006: 181-182 を参照されたい）。この例は、『満文老檔』第 6 函第 43 冊の有圏点満文 aisin i buya alisa（影印画像は中國第一歴史檔案館 2009a: 1936）に対応している。漢訳は「众小金山」である（中國第一歴史檔案館 2009b: 147）。この例にある alisa は、無生物 alin「山」に複数接辞が付く例であると考えられる。

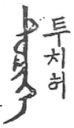
sinde「あなたに」	신더	(6-3b-6-4) (6-4a-5-5) (6-6a-6-1) (6-9a-4-1) (6-10a-4-2) (6-11a-1-4) (6-12a-1-1) (6-13a-1-1) (6-13b-6-1) (6-15a-6-2) (6-16a-3-6) (6-23a-5-5)
sini「あなたの」	시니	(6-3b-5-1) (6-7a-4-1) (6-15a-4-6) (6-16b-5-3) (6-17a-2-5) (6-20b-5-1)
sirdan「矢」	실단	(6-21a-2-2)
sirge「弦 ;絹糸 ;肋骨の一本、乾肉の一筋」	실거	(6-11b-4-2) (6-12b-2-3) (6-12b-6-2) (6-13a-1-3) (6-13a-2-5) (6-13a-4-3) (6-13a-5-6)
sirgei「弦/絹糸の」	실게	(6-13b-4-5)
soktobumbi「酔わせる」	---	---
soktobuhakū	속토부하쿠	(6-22b-5-4)
solimbi「招く」	---	---
solime	소리머	(6-21b-3-2) (6-22b-2-3)
sonjombi「選ぶ」	---	---
sonjofi	손죠피	(6-10a-5-6)
sonjome	손죠머	(6-20b-5-3)
su「漢語蘇」 (su jeo「蘇州」)	수	(6-11a-6-1) (6-11b-4-4) (6-12b-1-3) (6-12b-5-3) (6-14b-4-5)
sube「筋」	수버	(6-20a-1-1)
suberi「綾子」	수버리	(6-12a-1-3) (6-12a-2-1) (6-12a-2-6) (6-12a-3-6) (6-13b-1-2)
suje「緞子」	수져	(6-10b-6-1) (6-11a-1-1) (6-11a-3-6) (6-11a-5-4) (6-11a-6-5) (6-11b-1-6) (6-11b-3-6) (6-11b-5-3) (6-13b-1-3) (6-13b-3-1) (6-13b-4-2) (6-14a-1-1) (6-14b-3-2) [21] (6-14b-4-4) (6-14b-5-2) (6-15a-1-7) (6-16a-5-5) (6-16b-1-5) (6-17a-4-1) (6-17a-5-4) (6-17b-1-4) (6-17b-2-6)
suksaha「太股」	숙사하	(6-1a-6-3)
sula「暇の」	수라	(6-21b-3-4)
sunja「五」	순쟈	(6-1b-1-4) (6-2b-3-1) (6-3b-3-5) (6-5a-6-2) (6-5b-5-2) (6-9a-2-4) (6-9a-3-2) (6-15b-1-3) (6-16b-4-6) (6-18a-1-2)
suwaliyambi「混ぜる」	---	---
suwaliyame	솨랴머	(6-4b-4-7) (6-5b-6-2) (6-20b-4-3)[22]
suwayan「黄色い；戊」	솨얀	(6-18b-5-3)
suwe「あなたたち」	숴	(6-6b-1-1)
šanyan「白い；庚」	샨얀	(6-13a-4-1)
šan「漢語山」	샨	

[21] 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。
[22] 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

(šan dung「山東」[23])		(6-1b-5-1) (6-12a-6-2)
šu「漢語書」 (wen šu「文書」)	슈	(6-1a-2-3) (6-2b-6-1) (6-5a-2-2) (6-5b-4-1)
šun「太陽」	슌	(6-22b-3-1)
tabumbi「引っ掛ける ;弓に弦を張る」	---	---
tabu	타부	(6-18b-6-5)
tabuha	타부하	(6-19a-2-4)
taka「暫く」	타카	(6-7a-3-2) (6-20a-4-4)
takambi「見知る」	---	---
takarakū	타카라쿠	(6-17b-1-2)
takūrambi「遣わす」	---	---
takūrara	타쿠라라	(6-22b-1-3)
tanggū「百」	탕구	(6-3b-3-4)
tara「いとこ」	타라	(6-22a-5-4)
tatambi「引く ; 宿る」	---	---
tata	타타	(6-19a-3-2)
tataha	타타하	(6-6b-3-3) (6-6b-5-4) (6-10a-6-3)
tatame	타타머	(6-19a-1-2)
tatara	타타라	(6-19a-4-2) (6-19a-6-1)
te「今」	터	(6-4b-2-1)
tecembi「一緒に座る」	---	---
tecehe	터쳐허	(6-22b-3-3)
teceki	터쳐키	(6-21b-3-5)
teherembi「相等する ; 相応する」	---	---
teherere	터허러러	(6-15b-2-5)
teile「だけ」	테러	(6-9b-1-3)
tembi「座る ; 住む ; 職に就く ; 沈殿する ; 水が溜まる」	---	---
tehe	터허	(6-1a-4-2) (6-1b-3-8)
temgetu「印(いん)の一種 ; 印(しるし) ; 証拠 ; 証書」	텀거투	(6-1b-1-2) (6-2b-5-2) (6-3a-3-1) (6-5b-3-1)
teni「やっと」	터니	(6-15a-5-5) (6-19a-2-3)
tenteke「そのような ; あのような」	턴터커	(6-19b-1-5)
tere「その ; それ ; その人 ; あの ; あれ ; あの人」	터러	(6-2a-1-1) (6-12a-3-3) (6-13a-4-6) (6-23a-1-4)
tetendere「〜からには」	터턴드러	(6-15b-5-4)
tob「正しい ; 正に」	톱	(6-15b-2-3)

[23]『清語老乞大』における「山東」の満洲語 šan dung は 4 例出現しているが、いずれも分かち書きされている。しかし、満洲語におけるこの語は通常、分かち書きされない形（šan dung）で現れる。

toktobumbi「決める；平定する」	---	---
toktobuha	톡토부하	(6-2a-5-2) (6-20a-2-3)
toktosi (hūda toktosi「仲買人」)	톡토시	(6-3a-1-5) (6-3a-4-2) (6-3b-2-1) (6-6a-3-3)
tome「～毎に」	토머	(6-6a-2-6)
tondoi「公平に」	톤되	(6-9a-1-3)
tonggo「糸」	통고	(6-14a-5-1)
tubaci「そこ/あそこより」	투바치	(6-7b-4-1)
tucibumbi「出す」	---	---
tucibufi	투치부피	(6-2b-3-4) (6-5a-6-5) (6-5b-6-3)
tucibure	투치부러	(6-13a-6-2)
tucimbi「出る」	---	---
tucihe	투치허	(6-12a-6-1) (6-12b-3-5) (6-14b-4-8)
tucike	투치허[24]	(6-13a-3-6)

[24] 原書の当該箇所(6-13a-3-6)における、満洲文字表記・ハングル表記による満洲語文語は「 

」である。すなわち、満洲文字表記は tucike であるのに対し、ハングル表記は「투치허」（tucihe）となっている。『満露辞典』（Захаров 1875: 760）によれば、tuci- に付く完了接辞には -ke と -he の 2 つの形式がある。『清語老乞大』においても、tucike と tucihe の 2 通りの形式が見られる。また、tucike と tucihe の語形に関して、満洲文字表記とハングル表記が一致しない場合がある。具体的には、以下の 3 つのパターンが存在する。

[1] 満洲文字表記とハングル表記がともに tucike「투치커」に対応する形式で現れる（3 例）。

[2] 満洲文字表記とハングル表記がともに tucihe「투치허」に対応する形式で現れる（4 例）。

[3] 満洲文字表記が tucike、ハングル表記が tucihe「투치허」に対応する形式で現れる（1 例）。

表 6：『清語老乞大』における tucike～tucihe の 3 つのパターン

パターン 1	満洲文字表記＝tucike ハングル表記＝tucike	(2-13b-2-4) (2-13b-6-3) (5-5b-2-7)
パターン 2	満洲文字表記＝tucihe ハングル表記＝tucihe	(6-12a-6-1) (6-12b-3-5) (6-14b-4-8) (7-20b-6-2)
パターン 3	満洲文字表記＝tucike ハングル表記＝tucihe	(6-13a-3-6)

tucike と tucihe のいずれが正しいかという問題はさておき、パターン 3 のような満洲文字表記とハングル表記が一致しない現象の原因としては、誤記または墨の欠落が考えられる。도정업（2022: 7）も満洲文字表記とハングル表記が一致しないこの例に言及している。（次頁へ続く）

tuhembi「倒れる；落ちる」	---	---
tuhetele	투허터러	(6-22b-3-2)
tulgiyen「～以外」	툴견	(6-6a-1-1)
tumin「濃い(密度/色/味)；頻繁な(往来)」	투민	(6-13b-3-6)
turgunde「～の原因/理由で」	툴군더	(6-6b-2-1)
turi「豆」	투리	(6-6b-3-6)
tuttu「そのように；あのように」	툳투	(6-5a-1-5) (6-17a-4-4)
tuwabumbi「見せる；見させる；見られる」	---	---
tuwabufi	투와부피	(6-20a-1-5)
tuwakiyambi「見張る」	---	---
tuwakiyame	퇴캬머	(6-10b-1-2)
tuwambi「見る」	---	---
tuwa	투와	(6-17b-3-3)
tuwaci	투와치	(6-4b-2-2)
tuwafi	투와피	(6-2a-4-8) (6-8a-3-1)
tuwaki	투와키	(6-16a-3-3) (6-17a-1-5) (6-19a-1-3)
ubade「ここに/で」	우바더	(6-4a-4-4) (6-6b-1-3)
udambi「買う」	우담비	(6-12a-2-3) (6-12a-3-2) (6-12b-6-6) (6-13a-2-1) (6-13a-4-5) (6-13b-3-3) (6-13b-5-3) (6-19a-2-1)
uda	우다	(6-20b-5-4)
udafi	우다피	(6-1a-5-3) (6-4b-3-3) (6-4b-4-1) (6-7a-5-4) (6-7b-1-1) (6-10b-6-3) (6-14a-1-3) (6-21a-6-6)
udahabi	우다하비	(6-13b-2-2)
udaki	우다키	(6-8a-1-5) (6-9a-5-4) (6-12a-5-1) (6-13a-2-7) (6-20b-4-4) (6-21a-1-7) (6-21a-3-1)
udambio	우담빈	(6-11a-5-6) (6-11a-6-7)
udame	우다머	(6-7b-2-1)
udara	우다라	(6-2a-4-5) (6-3a-6-3) (6-17b-5-2) (6-19b-5-3)
udu「幾つ；いくら～(だとて)」	우두	(6-3b-4-5) (6-8b-1-4) (6-8b-5-5) (6-14b-1-5) (6-15a-2-2) (6-15a-5-3) (6-16a-6-1) (6-17b-4-3)

（前頁続き）

なお、筆者の集計によれば、『三譯総解』には tucike が 11 例出現しており（いずれもパターン 1）、tucihe の用例は皆無である。『三譯総解』における tucike の具体的な出現箇所は、(2-15a-2-5), (2-20a-1-5), (3-14a-6-1), (3-18a-2-5), (3-24a-2-2), (4-15a-2-5), (5-11b-4-3), (5-14b-2-4), (8-1b-1-6), (9-18b-4-1), (10-13a-4-7)である。また、『同文類解』には tucike が 4 例出現しており（いずれもパターン 1）、同様に tucihe の用例は皆無である。『同文類解』における tucike の具体的な出現箇所は(1-1a-7-5), (2-7b-9-2), (2-31a-3-5), (2-56a-1-2)である。

ufa「殻粉」	우파	(6-11b-5-6) (6-17b-3-6)
uhen「弟の妻」	우헌	(6-21b-5-4)
uheri「すべて」	우허리	(6-8b-1-3) (6-8b-2-2)
uju「頭；第一」	우쥬	(6-19b-4-3)
ulebumbi「食物を与える、食べさせる；筆を墨に浸す；荒縫いさせる」	---	---
ulebuhe	우러부허	(6-22b-4-1)
ulebume	우러부머	(6-6b-4-1)
uli「弓の弦」	우리	(6-18b-6-4) (6-20b-3-2) (6-20b-4-1) (6-20b-4-5)
ulin「貨財」	우린	(6-7a-6-4) (6-17a-6-2)
umai「全く(～でない)」	우매	(6-22b-4-3) (6-23a-1-2)
ume「否定命令標識」	우머	(6-9b-1-5) (6-13a-6-1) (6-15a-3-2)
umesi「甚だ」	우머시	(6-5a-2-6) (6-19a-6-3) (6-19b-4-2)
uncambi「売る」	운챰비	(6-8b-6-1) (6-15a-2-5) (6-18a-2-3)
unca	운챠	(6-7a-3-6) (6-9b-6-2)
uncafi	운챠피	(6-10b-2-8) (6-14a-2-4)
uncaha	운챠하	(6-1b-6-4)
uncaki	운챠키	(6-7b-6-4) (6-8a-1-2) (6-9b-5-6) (6-10a-4-3)
uncame	운챠머	(6-7a-1-6) (6-7a-5-8)
uncara	운챠라	(6-3b-1-3) (6-7a-4-3) (6-11a-1-2) (6-16a-4-1) (6-18b-1-2) (6-18b-2-1) (6-18b-3-2) (6-20b-3-1)
uncarakū	운챠라쿠	(6-9b-6-3)
unde「まだ～していない」	운더	(6-7a-2-4)
undeo「まだ～していない(unde)か」	운떠	(6-7a-2-1)
unenggi「誠；事実；誠実な；本当の」	우넝기	(6-15a-4-1) (6-23a-4-1) (6-23b-1-1)
unggimbi「遣わす」	---	---
unggifi	웅기피	(6-4a-3-2)
ušadambi「名残惜しい；心寂しい；残念だ」	---	---
ušadaha[25]	우샤다하	(6-22b-6-3)
uthai「すぐに；即ち」	운해	(6-4a-4-3) (6-7b-3-2) (6-10b-3-1) (6-15b-2-2) (6-15b-6-2)
uttu「このように」	운투	(6-4b-6-1) (6-9a-2-1) (6-14a-6-4) (6-23a-4-2)

[25] 当該箇所の ušadaha は mujilen ušadaha に出現しており、この mujilen ušadaha の原書における朝鮮語訳は「ᄆᆞᅀᆞᆷ이 서운ᄒᆞ다」である。「ᄆᆞᅀᆞᆷ이 서운ᄒᆞ다」は現代語では「섭섭하다」に相当し（南廣祐 1997: 829）、「名残惜しい；心寂しい；残念だ」などの意味を表す（두산동아 사서편집국 1994: 1164）。『大清全書』・『増訂清文鑑』には ušada- は収録されていないが、ušata- は収録されている。『大清全書』には見出し語 ušatambi「用力拉扯。」、『増訂清文鑑』には見出し語 ušatambi「拖累」がそれぞれ収録されている。これらの意味は『清語老乞大』における ušada- の意味とは異なるものの、関連性が全くないわけではない。

wa「匂い」	와	(6-8a-5-4)
wajimbi「終わる」	---	---
wajirakū	와지라쿠	(6-16a-1-1)
wajire	와지러	(6-7a-1-7) (6-7a-2-3)
waka「〜ではない；非」	와카	(6-14a-1-7) (6-14b-2-3) (6-23a-1-5)
wang「漢語王」	왕	(6-1a-4-3) (6-1b-4-1) (6-3a-1-3)
we「誰」	워	(6-2a-6-1) (6-5a-3-1)
weihe「歯；角(つの)」	웨허	(6-19b-6-3)
weilembi「働く；作る；事を為す；仕える」	---	---
weileci	웨러치	(6-16b-6-2)
wen「漢語文」 (wen šu「文書」)	운[26]	(6-1a-2-2) (6-2b-5-7) (6-5a-2-1) (6-5b-3-5)
ya「誰；どこ；何；どれ；どちら」	야	(6-2a-6-2) (6-5a-3-2)
yacin「青黒い」[27]	야친	(6-13b-4-1)
yali「肉」	야리	(6-23a-2-3)
yamun「衙門、役所、官庁」	야문	(6-12a-2-5)[28]
yan「両(重さの単位)」	얀	(6-2a-2-3) (6-2b-3-2) (6-3b-3-6) (6-3b-5-5) (6-5a-6-3) (6-5b-5-3) (6-6a-2-2) (6-6a-2-5) (6-8b-2-4) (6-9a-4-3) (6-9b-1-2) (6-9b-2-2) (6-14a-5-7) (6-14b-6-1) (6-15b-1-4) (6-18a-1-3) (6-18a-2-1)
yargiyan「本当の」	얄갼	(6-5a-1-2) (6-13b-6-2)
yaya「すべての、諸々の」	야야	(6-18a-2-6) (6-20a-5-2) (6-23a-6-2)
yohi「部；揃いの」	요히	(6-21a-6-1)
yombi「行く」	---	---
yoki	요키	(6-7b-2-6)
yoro「鏑矢の鏃」	요로	(6-21a-2-5)

3. 追記

[1] 王海波（2026b: 7）の脚注 5、王海波（2026c: 8）の脚注 7、王海波（2026d: 38）の脚注 11 にある『同文類解』を『三譯総解』に訂正する。

[2] 王海波（2026c: 2）の項目 adarame には和訳が漏れている。「如何に」を補記する。

[3] 王海波（2026d: 43）の表 2 に、『新滿漢大詞典』（胡增益 1994: 355; 2020: 572）に見られる gucihiyera- を追加する。

[26] 当該箇所の「文書」の「文」は、満洲文字による満洲語文語は wen と綴られているが、ハングル表記による満洲語文語は「원」ではなく、「운」と綴られている。

[27] yacin の意味に関しては、結城（2000）と早田清冷（2011）を参照されたい。

[28] 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「야문」が「아문」のように見えるが、本来は「야문」と書かれていたものと考えられる。

参考文献

＜日本語文献＞

池上二良（1951）「滿洲語の諺文文献に關する一報告」『東洋學報』33(2): 97-118.

池上二良（1954）「滿洲語の諺文文献に關する一報告（承前）」『東洋學報』36(4): 57-74.

池上二良（1963）「ふたたび満洲語の諺文文献について」『朝鮮学報』26: 94-100.

今西春秋（1958）「漢清文鑑解説」『朝鮮学報』12: 21-58.

王海波（2026a）「『三譯総解（第十）』ハングル表記満洲語文語索引」『KOTONOHA』282: 35-70.

王海波（2026b）「『清語老乞大（巻之一）』ハングル表記満洲語文語索引」『KOTONOHA』283: 1-30.

王海波（2026c）「『清語老乞大（巻之三）』ハングル表記満洲語文語索引」『KOTONOHA』284: 1-30.

王海波（2026d）「『清語老乞大（巻之四）』ハングル表記満洲語文語索引」『KOTONOHA』284: 31-62.

王海波（2026e）「『清語老乞大（巻之五）』ハングル表記満洲語文語索引」『KOTONOHA』285: 1-30.

小倉進平（1914a）「朝鮮に於ける日漢滿蒙語辭書」『朝鮮及滿洲』83: 40-46.

小倉進平（1914b）「朝鮮に於ける日・漢・滿・蒙語讀本」『東洋學報』4(2): 244-266.

河内良弘（1996）『満洲語文語文典』京都：京都大学学術出版会.

菅野裕臣（2005）「朝鮮司訳院の清学書のハングル対音の性格について」『韓国語学年報』1: 1-8.

岸田文隆（1989）「清学書に現れた滿洲語ハングル表記について：特に滿洲字 e に対する 2 通りのハングル表記をめぐって」『言語学研究』8: 17-38.

田村實造・今西春秋・佐藤長（1966-1968）『五體清文鑑譯解』京都：京都大學文學部内陸アジア研究所.

羽田亨（1937）『滿和辭典』京都：京都帝國大學滿蒙古調査會.

早田清冷（2011）「『満文三国志』満洲語の黒を表す語について—sahaliyan と yacin を中心に—」寺村政男・福盛貴弘（編）『語学教育フォーラム（第 24 号）：言語の研究 II—ユーラシア諸言語からの視座—』143-152. 東京：大東文化大学語学教育研究所.

早田輝洋（1993）「満洲語文語における『取りに（連れに）来る』を意味する動詞について——『満文金瓶梅』を資料として——」『文學研究』90: 89-130.

早田輝洋（2008）「満洲語の音節構造：音節節約を中心にして」寺村政男・久保智之・福盛貴弘（編）『語学教育フォーラム（第 16 号）:言語の研究—ユーラシア諸言語からの視座—』21-51. 東京：大東文化大学語学教育研究所.

早田輝洋（2010）「『滿文原檔』の表記に現れた種々の問題——第 1 冊荒字檔・昃字檔を中心にして——」寺村政男・福盛貴弘（編）『語学教育フォーラム（第 24 号）：言語の研究Ⅱ—ユーラシア諸言語からの視座—』37-91. 東京：大東文化大学語学教育研究所.

福田昆之（2008）『増訂満洲語文語辞典』横浜：FLL.

結城佐織（2000）「満洲語文語におけるアオ系統の色彩語について」『アジア・アフリカ文法研究』29: 131-166.

＜韓国語文献＞

南廣祐(1997)『教學 古語辭典』서울: 교학사.

도정업(2022)「『淸語老乞大』에 나타난 특수어형에 대한 연구: 청나라 간행 문헌과의 대조적 관점에서」『알타이학보』32: 1-21.
두산동아 사서편집국(1994)『동아 프라임 韓日辭典』서울: 두산동아.
성백인(1984)「譯學書에 나타난 訓民正音 使用: 司譯院 淸學書의 만주어 한글 표기에 대하여」『한국문화』5: 21-63.
邵磊(2011)「『漢淸文鑑』을 通해 본 滿文의 한글表記法」『中韓文化關係國際學術會議論文集』290-308.
최동권, 김양진, 김유범, 황국정, 신상현(2012)『譯註 淸語老乞大新釋』 서울: 박문사.

＜中国語文献＞
崔宰宇（1997）「『漢清文鑑』的編排體例和語音轉寫」『中央民族大學學報（社會科學版）』1997(3): 82-89.
馮明珠（主編）（2006）『滿文原檔（第三冊）』台北：沈香亭企業社.
胡增益（主編）（1994）『新滿漢大詞典』烏魯木齊：新疆人民出版社.
胡增益（主編）（2020）『新滿漢大詞典（第 2 版）』北京：商務印書館.
邵磊（2016）「清-朝鮮時期漢·滿·韓互譯中的文字對音：以『漢清文鑑』滿文的韓文表記法為例」『編譯論叢』9(2): 57-92.
邵磊・多麗梅（2022）「海外中國典籍的多語轉寫研究：以『清語老乞大』漢語-滿文的朝鮮文轉寫為例」『東方語言學』2022(2): 17-25.
邵磊・多麗梅（2023）「『三譯総解』滿文的朝鮮文轉寫研究」『滿學研究』2023: 195-204.
邵磊・金龍軍（2022）「清代滿朝對音文獻中的特殊轉寫：以滿文-w 系復元音的朝鮮文轉寫為中心」『民族翻譯』2022(4): 77-86.
邵磊・林茶英（2022）「論朝鮮清學書滿朝對音中的音節對稱與不對稱」『滿語研究』2022(2): 69-74.
邵磊・任國俊（2023）「清學書中的朝鮮文『圈點字』研究」『民族翻譯』2023(3): 78-88.
邵磊・王敵非（2022）「『清語老乞大』滿文的朝鮮文轉寫研究」『滿族研究』2022(2): 89-95.
王敵非（2013）「『清語老乞大』滿朝對音研究」『黑龍江民族叢刊』2013(6): 155-158.
中國第一歷史檔案館（整理編譯）（2009a）『內閣藏本滿文老檔 第六函 太祖朝 第四十三冊至第五十九冊』瀋陽：遼寧民族出版社.
中國第一歷史檔案館（整理編譯）（2009b）『內閣藏本滿文老檔 太祖朝 漢文譯文』瀋陽：遼寧民族出版社.

＜英語・ドイツ語文献＞
Ikegami, Jiro. (1990) Significance of Korean materials in the study of Manchu. *Altai Hakpo*. 2: 71-77.
Lie, Hiu. (1972) *Die Mandschu-Sprachkunde in Korea*. Bloomington: Indiana University.
Norman, Jerry. (2013) *A Comprehensive Manchu-English Dictionary*. Cambridge, Massachusetts: Harvard University Asia Center.
Schmidt, Peter. (1933) Chinesische Elemente im Mandschu. Mit Wörterverzeichnis (Fortsetzung und Schluss). *Asia Major*. 8: 353-436.
Stary, Giovanni. (2008) *Handwörterbuch der Mandschuspache. 2., durchgesehene un erweiterte Auflage* by Erich Hauer and Oliver Corff. (review). *Central Asiatic Journal*. 52(1): 151-155.
von Möllendorff, Paul Georg. (1892) *A Manchu Grammar with Analysed Texts*. Shanghai: American Presbyterian Mission Press.

＜ロシア語文献＞
Захаров, И.И. (1875) *Полный Маньчжурско-Русскій Словарь*. СПб.: Типографія Императорской Академіи Наукъ.

An Index to the Written Manchu Words Transcribed in Hangul in the Sixth Volume of *Ch'ŏng-ŏ No-gŏl-dae*

Haibo WANG
(Lingnan Normal University)

Keywords: *Ch'ŏng-ŏ-no-gŏl-dae*, Hangul Transcription, Written Manchu

Ch'ŏng-ŏ No-gŏl-dae is one of the books compiled by the Bureau of Interpreters during the Joseon Dynasty in Korea. In this work, Written Manchu words were recorded in both the Manchu script and the Hangul transcription. Notably, the Hangul transcriptions do not always correspond directly to their Manchu script counterparts, suggesting that they may reflect phonetic nuances not fully represented in the Manchu script. This paper presents a Möllendorff-transcription-based index of Written Manchu words found in the sixth volume of *Ch'ŏng-ŏ No-gŏl-dae*. By aligning the Hangul transcriptions with their equivalents in the Manchu script (represented in Möllendorff transcription), the index serves as a practical reference for exploring script correspondences and phonological details of Written Manchu.

（おう・かいは　boljon@163.com）